



2018年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月26日
上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社
 コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215
 四半期報告書提出予定日 2018年8月3日 配当支払開始予定日 2018年9月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第2四半期の連結業績（2018年1月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	31,289	△9.3	4,755	△24.9	4,901	△26.2	3,410	△26.3
2017年12月期第2四半期	34,496	2.7	6,329	3.3	6,640	20.9	4,626	26.4

(注) 包括利益 2018年12月期第2四半期 1,829百万円 (△65.4%) 2017年12月期第2四半期 5,281百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第2四半期	59.15	—
2017年12月期第2四半期	80.23	—

(注) 当社は、2017年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年12月期第2四半期	120,923	90,667	73.8	1,547.99
2017年12月期	122,195	89,700	72.3	1,531.66

(参考) 自己資本 2018年12月期第2四半期 89,249百万円 2017年12月期 88,308百万円

(注) 当社は、2017年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	22.00	—	14.00	—
2018年12月期	—	14.00	—	—	—
2018年12月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 当社は、2017年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、2017年12月期の第2四半期末配当金については分割前の株式に対する金額、2017年12月期の期末配当金は株式分割後の株式に対する金額になっております。

3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	△4.8	9,000	△24.0	9,000	△26.9	6,500	△22.1	112.74

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年12月期 2Q	64,286,292株	2017年12月期	64,286,292株
② 期末自己株式数	2018年12月期 2Q	6,631,234株	2017年12月期	6,631,184株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年12月期 2Q	57,655,087株	2017年12月期 2Q	57,672,182株

(注) 当社は、2017年7月1日で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注1) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(注2) 当社は、2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して2017年12月期の1株当たり当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年1月1日から2018年6月30日まで）におけるわが国経済は、企業収益と雇用・所得環境の改善が進むものの、企業は人件費や物流費の上昇に伴うコスト増を商品価格に反映するには至っておらず、依然として景気の回復基調は力強さを欠いております。海外に目を転じると、個人消費の増加を背景とした欧米諸国の景気拡大を始めとして着実な成長が続く一方、米国の通商・外交政策での保護主義的な動きへの影響による不透明感や北朝鮮や中東を始めとする地政学リスクなど、経済の先行きは不確実性を含んだ状況で推移いたしました。

当社グループが属しております筆記具業界におきましては、年齢・性別や地域に捉われないターゲット層の幅広さや多様な品揃えといった商品特性から、国内外でインターネットを通じた流通への移行が進み、販売チャネルの構造的変化とともにお客様の消費行動が急速に変容しつつあります。さらに、デジタル技術の進化によりお客様の筆記環境が移り変わろうとしており、柔軟な対応力やスピード感を持って開発や販売活動に取り組み続けなければ、競争優位性を確保することが厳しい市場環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは「最高の品質こそ最大のサービス」という社是のもと、品質向上と技術革新に努め、長きに亘ってご愛顧頂けるような高品質で高付加価値な商品をお客様にお届けすることに注力してまいりました。『なめらかボールペン』市場を牽引する「ジェットストリーム」シリーズにおいては、ディズニーキャラクターを施した限定品を用いてターゲットの更なる拡大を図り、消せるボールペン「ユニボールR・E」からは手帳やメモ等に便利なボール径0.38mmの極細タイプを発売して使用用途の拡大に努めました。さらに、発売から10年を迎える「クルトガ」においては限定色やキャラクターデザインを施した限定品を通じて、商品ブランドの育成に尽力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は312億89百万円（前年同期比9.3%減）となりました。また営業利益は47億55百万円（前年同期比24.9%減）、経常利益は49億1百万円（前年同期比26.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億10百万円（前年同期比26.3%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業につきましては、国内市場は堅調に推移したものの、海外市場においては厳しい販売状況となりました。そのため、外部顧客に対する売上高は300億79百万円（前年同期比9.5%減）となりました。また、その他の事業は、手工芸品事業の市況が依然厳しく、外部顧客に対する売上高は12億9百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて12億72百万円減少し1,209億23百万円となりました。これは主として現金及び預金が9億89百万円増加し、受取手形及び売掛金が27億20百万円減少したことによりります。

負債は、前連結会計年度末に比べて22億40百万円減少し302億55百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が6億31百万円減少し、未払法人税等が7億65百万円減少したことによりります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて9億67百万円増加し906億67百万円となりました。これは、主として利益剰余金が26億7百万円増加し、その他有価証券評価差額金が11億79百万円減少したことによりります。

キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて10億23百万円増加し479億46百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前四半期純利益48億44百万円、減価償却費8億78百万円、売上債権の減少による資金の増加24億19百万円、法人税等の支払額19億51百万円により、合計で51億54百万円と前年同期に比べて31億62百万円の収入の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、主に固定資産の取得による支出13億94百万円、投資有価証券の取得による支出15億37百万円、固定資産の売却による収入2億1百万円により、合計で27億26百万円と前年同期に比べて12億33百万円の支出の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、主に配当金の支払額8億2百万円、長期借入金の返済による支出1億80百万円により、合計で11億15百万円と前年同期に比べて1億11百万円の支出の増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2018年2月9日に公表しましたが、国内及び海外の市場環境の変化及び、流通在庫の調整等の影響にともない、連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想を下回る見込みとなった結果、2018年7月26日に業績の修正をしております。詳しくは、2018年7月26日公表の、「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,265	48,254
受取手形及び売掛金	19,292	16,571
たな卸資産	15,250	16,139
その他	2,608	2,361
貸倒引当金	△579	△670
流動資産合計	83,836	82,656
固定資産		
有形固定資産	18,894	19,024
無形固定資産	826	880
投資その他の資産		
投資有価証券	16,691	16,527
その他	1,947	1,833
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	18,639	18,361
固定資産合計	38,359	38,266
資産合計	122,195	120,923

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,712	8,081
短期借入金	1,637	1,747
未払法人税等	2,136	1,370
賞与引当金	537	483
返品引当金	43	44
その他	5,517	5,445
流動負債合計	18,585	17,173
固定負債		
長期借入金	6,183	5,822
退職給付に係る負債	3,731	3,724
役員退職慰労引当金	87	94
環境対策引当金	14	43
その他	3,892	3,397
固定負債合計	13,910	13,082
負債合計	32,495	30,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	74,813	77,421
自己株式	△3,946	△3,946
株主資本合計	79,085	81,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,681	6,502
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	1,513	978
退職給付に係る調整累計額	26	75
その他の包括利益累計額合計	9,222	7,556
非支配株主持分	1,392	1,418
純資産合計	89,700	90,667
負債純資産合計	122,195	120,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
売上高	34,496	31,289
売上原価	16,507	15,108
売上総利益	17,988	16,180
販売費及び一般管理費	11,659	11,424
営業利益	6,329	4,755
営業外収益		
受取利息	15	11
受取配当金	136	163
受取地代家賃	41	32
受取保険金	18	24
受取補償金	139	—
為替差益	13	—
その他	42	36
営業外収益合計	406	268
営業外費用		
支払利息	14	21
為替差損	—	8
シンジケートローン手数料	31	28
売上割引	23	29
その他	25	33
営業外費用合計	95	122
経常利益	6,640	4,901
特別利益		
固定資産売却益	2	36
特別利益合計	2	36
特別損失		
固定資産除売却損	90	6
工場再編損失	—	59
環境対策引当金繰入額	—	28
特別損失合計	90	94
税金等調整前四半期純利益	6,553	4,844
法人税等	1,776	1,289
四半期純利益	4,776	3,554
非支配株主に帰属する四半期純利益	149	143
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,626	3,410

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	4,776	3,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	544	△1,179
繰延ヘッジ損益	27	△0
為替換算調整勘定	△140	△592
退職給付に係る調整額	73	48
その他の包括利益合計	504	△1,724
四半期包括利益	5,281	1,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,121	1,744
非支配株主に係る四半期包括利益	159	85

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,553	4,844
減価償却費	844	878
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	91	102
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	171	110
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	14	67
受取利息及び受取配当金	△152	△174
支払利息	14	21
為替差損益 (△は益)	△5	△14
受取補償金	△139	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△45	2,419
たな卸資産の増減額 (△は増加)	354	△1,096
仕入債務の増減額 (△は減少)	13	△610
未収消費税等の増減額 (△は増加)	475	446
その他	527	△39
小計	8,718	6,957
利息及び配当金の受取額	152	171
利息の支払額	△14	△21
補償金の受取額	139	—
法人税等の支払額	△678	△1,951
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,317	5,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△3,932	△1,394
固定資産の売却による収入	5	201
投資有価証券の取得による支出	△100	△1,537
貸付けによる支出	△0	△2
貸付金の回収による収入	1	3
定期預金の預入による支出	△88	△6
定期預金の払戻による収入	214	36
その他	△58	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,960	△2,726
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	△71
長期借入金の返済による支出	△1	△180
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△601	△802
非支配株主への配当金の支払額	△255	△59
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△120	—
その他	△4	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,004	△1,115
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	△289
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,249	1,023
現金及び現金同等物の期首残高	38,542	46,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,792	47,946

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	33,230	1,265	34,496	—	34,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	11	16	△16	—
計	33,235	1,276	34,512	△16	34,496
セグメント利益	6,248	68	6,316	12	6,329

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	30,079	1,209	31,289	—	31,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	13	20	△20	—
計	30,087	1,223	31,310	△20	31,289
セグメント利益	4,695	48	4,744	11	4,755

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。